

# 審査委員によるマスタークラス 受講生募集要項

第7回仙台国際音楽コンクール開催期間中に、若い音楽家の育成を目的とした「審査委員によるマスタークラス」をピアノ、ヴァイオリンの2部門で開催いたします。



## 開催概要

### ピアノ部門

**日時** 2019年6月3日(月)、4日(火)  
**会場** 日立システムズホール仙台 シアターホール  
(仙台市青年文化センター)

### ヴァイオリン部門

**日時** 2019年6月24日(月)、25日(火)  
**会場** 日立システムズホール仙台 練習室1  
(仙台市青年文化センター)

募集人数	各部門概ね6名(1名1回60分のレッスン)
受講資格	将来音楽家を志す中学生以上25歳以下の方。国籍不問。 ※2019年4月1日時点
申込方法	申込書に写真添付、必要事項を記入のうえ、受講曲の演奏(10分程度)を録音したCDを添えて下記申込先へ送付してください。審査のための音源は2018年8月以降に録音したもの。(音源、申込書・写真は返却いたしません) 《申込先》公益財団法人仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局 マスタークラス応募係 〒981-0904 宮城県仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5(日立システムズホール仙台内)
申込締切	2019年2月28日(木) 必着
選考	書類、CDによる審査を経て受講生を決定し、応募者全員に結果をご連絡いたします。(3月中旬を予定)
受講曲目	各部門とも自由 ※ただし、選考用録音曲と同じ曲とします。
受講料	25,000円 ※交通費その他受講のための費用は受講生負担となります。 ※伴奏ピアニストが必要な場合は各自同伴してください。 ※日本語通訳を主催者側で手配いたします。
聴講料	(1日券) 一般1,000円 学生500円 ※聴講券は2019年2月頃発売予定です。 ※受講生は無料です。

### ピアノ部門 講師



マッティ・レカッリオ



アンドレア・ボナッタ



ネクサナ・キャブロンスカヤ



ジャック・ルヴィエ

### ヴァイオリン部門 講師



©P.Cinotti/Siena  
ボリス・ベルキン



ロドニー・フレンド



オリヴィエ・シャルリエ



©Peter Schaaf  
ジョエル・スミルノフ



チョーリャン・リン



©Marco Boggreve  
イザベル・ファン・クレン



## 講師プロフィール ピアノ部門

会場：日立システムズホール仙台 シアターホール  
(仙台市青年文化センター)

### マッティ・レカッリオ

Matti RAEKALLIO



ジュリアード音楽院教授。様々なチクルスに取り組み、62曲のピアノ協奏曲を演奏するなど幅広いレパートリーを持ち、録音も高く評価されている。シベリウス音楽院、ストックホルム音楽大学、ハノーファー音楽演劇大学などの教授職を歴任。ピアノ運指の歴史研究や、認知心理学の観点からピアニストの指使いの選択の研究も行っている。

### アンドレア・ボナッタ

Andrea BONATTA



イタリアの最も著名なピアニストであり成功した指揮者の一人。演奏活動は世界中に及び、録音やブラームスのピアノ作品に関する著書が高く評価されている。主要な国際コンクールの審査委員として多数招かれており、ブゾーニ国際ピアノコンクールの芸術監督及び審査委員長、国際音楽コンクール世界連盟の副会長も務めた。

### オクサナ・ヤブロンスカヤ

Oxana YABLONSKAYA



ジュリアード音楽院名誉教授。17歳でモスクワの中央音楽学校の最年少指導者となり、モスクワ音楽院でも指導。イタリアではピアノ学院を設立し、現在はエルサレム音楽舞踊アカデミーで教鞭を執る。リサイタルは40カ国以上で行われ、主要オーケストラとの共演や録音も多数。教師、演奏家としての経験をまとめた自叙伝も執筆している。

### ジャック・ルヴェイエ

Jacques ROUVIER



ザルツブルク・モーツァルテウム大学教授。カントロフ、ミュレルとピアノ・トリオを結成して活躍。ラヴェルのピアノ曲全集、ドビュッシー作品全集など録音は30以上あり、フランスのディスク大賞を受賞している。ソリスト、室内楽奏者として多くの音楽祭やアカデミーに参加、世界中のマスタークラスにも招待されている。

## 第7回仙台国際音楽コンクール

The 7th Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールは、仙台市が2001年に創設し、3年毎に行うコンクールです。才能ある若い音楽家を輩出することにより、世界の音楽文化の振興及び国際的文化交流の推進に寄与することを目的としています。

協奏曲を課題曲の中心に据えるという特色を持ち、公正で信頼性の高い運営とともに、市民の温かいホスピタリティに支えられたコンクールです。2005年より国際音楽コンクール世界連盟に加盟しています。

開催期間：[ピアノ] 2019年5月25日(土)～6月9日(日) [ヴァイオリン] 2019年6月15日(土)～6月30日(日)

会場：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)

詳細は公式サイトをご覧ください。 <https://simc.jp>





# 講師プロフィール ヴァイオリン部門

会場：日立システムズホール仙台 練習室1  
(仙台市青年文化センター)

## ボリス・ベルキン

Boris BELKIN



©P.Cinotti/Siena

7歳でコンドラシンと共演デビュー。モスクワ音楽院を経て西欧に移住後、世界的な演奏活動を展開。ベルリン・フィル、ボストン響、小澤征爾、ラトル等、主要なオーケストラや指揮者と共演を重ね、絶賛されているパガニーニの協奏曲など録音も多数。バシメット、マイスキー等と室内楽に取り組み、マスタークラスも毎年開催している。

## ロドニー・フレンド

Rodney FRIEND



傑出した英国生まれのヴァイオリニスト。ソリスト、室内楽奏者、コンサートマスター、音楽監督、教育者として、偉大な音楽家達と共演。バレンボイム、ショルティ、バーンスタイン、メータ等、一流指揮者と仕事をこなしたコンサートマスターとしての活躍は伝説となり、著書「オーケストラのためのヴァイオリニスト」も高く評価されている。

## オリヴィエ・シャルリエ

Olivier CHARLIER



弱冠10歳でパリ国立高等音楽院に入学。プーランジェ、メニューイン、シェリングから才能を認められ、頭角を現わす。フランス国立管、ロンドン・フィル、チューリッヒ・トーンハーレ管、N響など主要オーケストラと共演し、室内楽でも活躍。録音も多数あり、プラハ室内管を弾き振ったモーツァルトの協奏曲など高い評価を得ている。

## ジョエル・スミルノフ

Joel SMIRNOFF



©Peter Schaaf

ジュリアード音楽院教授。指揮者、ヴァイオリニスト、そして教育者であり、クリーヴランド音楽院の学長を務めた。小澤征爾から勧められたことをきっかけに指揮者となり、多くのオーケストラと共演。ジュリアード弦楽四重奏団の元メンバーであり、グラミー賞の特別功労賞生涯業績賞を受賞。トニー・ベネットと共演してジャズ演奏も行う。

## チョーリャン・リン

Cho-Liang LIN



ジュリアード音楽院教授、ライス大学教授。1980年、メータ指揮ニューヨーク・フィルとの共演でデビュー。以来、世界中ほとんど全ての主要オーケストラと共演してきた。録音も数多く、グラモフォン・レコード・オブ・ザ・イヤー、ペンギン・ガイド・ロゼット賞を受賞。現代の作曲家たちを支持し、新しい作品の委嘱にも努めている。

## イザベル・ファン・クレーン

Isabelle VAN KEULEN



©Marco Boggreve

カリスマ性と多様な表現力で魅了するヴァイオリン及びヴィオラ奏者。ベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、N響など主要オーケストラと共演を重ね、室内楽、音楽祭でも活躍。レパートリーは幅広く現代の作曲家も含まれる。2012年から、ルツェルン応用科学芸術大学でヴァイオリン、ヴィオラ、室内楽の教授を務めている。